



社会福祉法人 浴風会
認知症介護研究・研修東京センター
名誉センター長

長谷川 和夫

認知症のケアは、御本人の心の体験を理解することから始まります。体験から行動が生まれ、そして行動から体験がおこります。認知症の御本人が暮らしていく時に支障をきたして苦しむ時、メッセージとして表現されることをまず理解しましょう。そしてどんな体験を心にもったか、ひとつひとつ想像し考えていくこと、これが“ひもとき”です。あるがままのその人に向き合って、私たちの感性と経験を基に考えてみましょう。ひもときねっとは、皆さんの専門性を高めてくれるツールになることを確信しています。

ひもときねっと 活用法

ひもときねっと **検索**

気づきを学ぶ
援助者とスーパーバイザーのやり取りを通じて「ひもとき」プロセスが学べます。
▶ **気づきを学ぶ**

事例を探す
事例を通して認知症ケアの「気づきの視点」について考えてみましょう。
▶ **事例を探す**

なるほどリンク
認知症ケア高度化事業成果報告
海外認知症ケア情報
お役立ちコーナー
ダウンロード

ひもときシートを使ってみよう!
ひもときシートとは、援助者中心になりがちな思考を本人中心の思考に転換し、課題解決に導こうとするものです。
▶ シートを作った理由 ▶ Q&A
▶ ひもときシートとは ▶ 効果検証
▶ シートの使い方

厚生労働省委託・認知症ケア高度化推進事業

認知症介護研究・研修東京センター 〒168-0071東京都杉並区高井戸西1丁目12番1号

電話: 03-3334-2173 (代表) / FAX: 03-3334-2718